

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告

< 73 2012. 4. 8 > 連絡先 402-1622
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

紀の川の源流をたずねて

森林環境保全議員連盟の視察で、川上村（奈良県吉野郡）へ行って来ました。紀の川は、さかのぼって奈良県に入ると吉野川になり、川上村が源流となっています。

「川上村の奥地にある、三之公地区には、500年以上も前から手つかずの森が残されています。森は恵みの雨をたくわえ、川をつくり、あらゆる生命を育み支えてくれています。先人たちが遺してきた自然と意思をしっかりと受けつぎ、未来へ手渡したい。そんな思いから、川上村はこの森の740haを買い取り、吉野川源流『水源地の森』として守っています。」（森と水の源流館パンフレットより）



和歌山市もその一助にと、パルプ原料に木を切り、荒れてしまった山を3ha借り上げ、「和歌山市民の森」として、その整備に市民が参加するという事業を行っています。

蛇口をひねれば当たり前のように出てくる水ですが、そのおおもとがどうなっているのか知ることができ、自然を自然のままに守っていくことの大切さ、大変さを改めて感じて帰ってきました。

機会があれば、ぜひ一度お出かけください。

みち子のひとりごと

卒業式・入学式

この時期、卒業や入学の様子がテレビでもよく映し出されます。特に、被災地の子どもたちの生き生きとした姿には、「よかつたね」という安どの気持ちになり、「よしつ、私も頑張ろう」と元気をもらっています。

でも、その映像を見てびっくりしたことがあります。それは子どもたちの服装です。ほとんどの子どもたちが羽織袴を着ているのです。最近はそのなかかなあとも思いましたが、先日出席させていただいた小学校の卒業式では袴姿はありませんでした。時代かなとも思いましたが、地域性なのでしょうが？

以前住んでいた茨城では、小学校の卒業式に中学校の制服を着るのが慣例でした。でも私は「中学校の制服は中学生になつてから」とこだわり、制服着用は決められているわけではないと確認した上で、私服で行かせたことがありました。

何を着ても、子どもたちの成長の証、けじめの式に変わりはありません。形にとらわれず、子どもたち一人ひとりが自分らしく、式を迎えられるようにと願います。



